

資料3

平成30年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 1月23日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師
1	柳沢	乳幼児を持つ母親 のための講座 ママのわくわく人 形劇 ～子どもの 誕生と創造性をみ つめて～	学習・自 己実現	4月25日～9月12日 水曜日 全14回	延べ98人	子どもの創造性の育みや子育ての楽しさに気付くことの大切さを講師の講話、参加者同士の関わりや人形を用いたコミュニケーションを学ぶことで理解することができた。人形の動かし方を学び、練習を重ね、子ども達の前で人形劇を発表した経験が参加者の達成感と感動を得る機会になった。	青木千景（公益社団法人誕生学協会 誕生学アドバイザー） 福岡淳子（30年前柳沢公民館第1回保育付き講座受講者、「保育のための人形劇」講座や人形公演。保谷柳沢児童館で「コロリンたまご」を継続中） 小須田厚子（くまさんの会（人形劇）、柳沢おやおやクラブ代表）
2	柳沢	青年対象 作詞・作曲ワークショップ あなたの感性でオリジナル曲をつく	学習・自 己実現	9月6日～12月9日 木曜日 全11回 ※11月8日、22日に補講を実施	延べ188人	参加者全員が、オリジナル曲（詞のみを含む）を完成させ、それぞれの感性を歌で表現することができた。また、一つ	野口義修（音楽プロデューサー、作曲家）

		ろう				のテーマでみんなで曲をつくったことで一体感を感じることができた。	
3	田無	料理講座 発酵食パワーを日常に活かそう！	学習・自己実現	10月23日・30日、11月6日 火曜日 全3回	延べ53人	発酵食について健康効果を学ぶと共に実際に調理実習を行うことで知識がより深まった。グループで協力して作業を行うことで地域の人同士を繋ぐことができた。	Izumi（発酵食料理研究家・発酵食キスパート）
4	田無	防災クッキング 元気が出る災害食～普段の食材でむだのない備蓄～	学習・自己実現	11月18日（日）	27人	講師の熊本被災地支援から普段食べているいつもの食事こそが困難を乗り越える力になると学ぶ。備蓄ゴミを出さない備蓄法と栄養価の高い調理法を学んだ。	鈴木佳世子（一般社団法人危機管理教育研究所認定クッキングアドバイザー）
5	田無	地域防災講座 防災まち歩き	地域づくり	12月1日（土）	33人 （他に東京老人ホーム内対応職員15人）	保谷二小、一般社団法人東京老人ホームの協力を得て、地域の避難所や福祉施設を知ると共に関係団体、地域住民を繋ぐことができた。	荘 雄一朗（西東京レスキューバード代表） 案内人：西東京レスキューバードメンバー
6	芝久保	文学芸術講座 はじめての茶道講座	学習・自己実現	5月22日～7月3日 火曜日 全6回	延べ70人	茶道の基礎的な知識、茶席のマナーを学び実践できるようになった。茶道の総合芸術としての側面を理解し、興味関	中川宗寛（遠州流茶道 むさしの支部長）

						心の幅を広げることができた。	
7	芝久保	健康講座 笑顔で元気になろう！～体操・脳トレ・リトミック～	地域づくり	10月16日～11月13日 火曜日 全5回	延べ64人	音楽に合わせた体操やリトミックがリハビリとなり、楽しくリフレッシュでき生活習慣病予防に繋がった。サークル活動も紹介し公民館を中心に、地域づくりの交流になった。	中野みゆき（健康体操指導員） 宮良愛子（ダルクローズ・リトミック国際ライセンス取得講師）
8	谷戸	「正月飾り・注連縄づくり」に挑戦	学習 自己実現	11月30日～12月21日 金曜日 全4回	延べ70人	太古より注連縄と言う文化が日本に根付いた歴史的背景やしめ飾り・鏡餅の飾り物の意義・意味を理解する事ができた。また小物として紙垂、箸袋、ポチ袋、水引を作成。また真菰、稲藁でしめ縄を綯いしめ飾りを完成する事が出来た。	森 須磨子(グラフィックデザイナー) 井上美由紀・小松高子 (NPO法人 地球と共に生きる会)
9	ひばりが丘	教養講座 親子でベビーダンス	学習・自己表現	10月23日・30日、11月6日・13日 火曜日 全4回	延べ118人	抱っこ紐を着用した状態で運動することで親子が楽しく触れ合いながら運動することができた。	中島千草(日本ベビービクス協会インストラクター)

10	ひばりが丘	高齢者の課題を考える講座 いきいきナイス長寿に必要なこと	学習・自己表現	11月7日・14日・21日・28日 水曜日 全4回	延べ61人	栄養講座は最新の情報に基づいた内容で、様々な食事レシピは一般的な食習慣を改める契機となった。	泉京子（管理栄養士） 竹下枝利（歯科衛生士） 伊藤魅和（ファイナンシャルプランナー） 木村寛（キャリアコンサルタント） 市川春美（西東京市社会福祉協議会）
11	ひばりが丘	防災講座 集合住宅の減災対策でつながる	学習・自己実現	11月25日・12月2日 日曜日 全2回	延べ49人	減災に向けて取り組むための組織づくりや防災意識を高めるための学習の重要性を確認することができた。住民同士が具体的な意見を出し合い、防災を考える機会となった。	小野修平（ジョージ防災研究所代表・防災アドバイザー） フォレストレイクひばりが丘防災専門委員会 西東京市危機管理室
12	保谷駅前	韓国の平成教育からとらえ多文化共生	地域づくり	9月8日（土）	35人	韓国安山市の事例を中心に地域における外国人との共生社会の実現を話し合った。	呉世蓮（早稲田大学非常勤講師、西東京市公民館運営審議会委員）
13	保谷駅前	メンズクッキング いろは（基礎編）	学習・自己実現	10月13日、11月3日 12月8日 土曜日 全3回	延べ35人	料理の実習を行うことで知識が深まり、自分でも作るようになった。またグループで協力して作業を行うことで地域の人同士を繋ぐことができ、交流が深められた。	臼井通子・妹尾香穂美・須藤真理（西東京市地域栄養士会）